

製品名: GTPBP5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11849**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	GTPBP5
別名	GTPBP5; OBGH1; GTP-binding protein 5; Protein obg homolog 1; ObgH1
遺伝子 ID	26164.0
SwissProt ID	Q9H4K7
免疫原	抗血清はヒト GTPBP5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

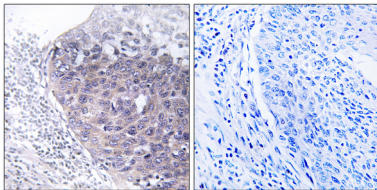
GTPBP5 などの低分子 G タンパク質は、タンパク質合成、核輸送、膜輸送、シグナル伝達といった基本的な細胞プロセスの制御において重要な役割を果たす分子スイッチとして機能します (Hirano et al., 2006 [PubMed 17054726])。[OMIM 提供、2008年3月]

機能: リボソーム成熟過程に関与する。in vitro ではGTPaseとして機能し、欠損するとミトコンドリアの伸長と核形態異常が観察される。配列注意: Gln と翻訳される。類似性: GTP1/OBG ファミリーに属する。

研究分野

-

画像データ



GTPBP5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。